

事例発表

「外国人児童生徒の教育支援」



NPO法人 Gコミュニティ

代表理事 本堂晴生

Haruo Hondo



1. 教育支援の取り組みの考え方



1-1 教育支援の取り組みの考え方

考え方(1): 外国人の将来の選択肢を広げる環境を作る

考え方(2): 問題が起きる前に、もしくは深刻化する前に防ぐ
(予防)

考え方(3): 地域に支援のネットワークを作る



1-2 人生の選択肢を広げる環境作り

外国人の子どもにとって日本語を学ぶことは目的ではなく、
自分の人生の選択肢を広げるための「道具」です

日本語を生かせる環境づくり … 教育支援の範囲の広がり

自分で考え・
決められる力
の養成

進学説明会・
職業説明会

母国語による
教育相談

母国語による
心理カウンセリング

日本語・教科学
習支援
(学校内外)

機会を自分で
作る力の養成

中学校卒業程度認定試験の支援

高等学校卒業程度認定試験の支援

奨学金・教育ローンの情報支援

身近に相談
できる地域の力
の養成

外国人コミュニティ
コーディネーター
養成

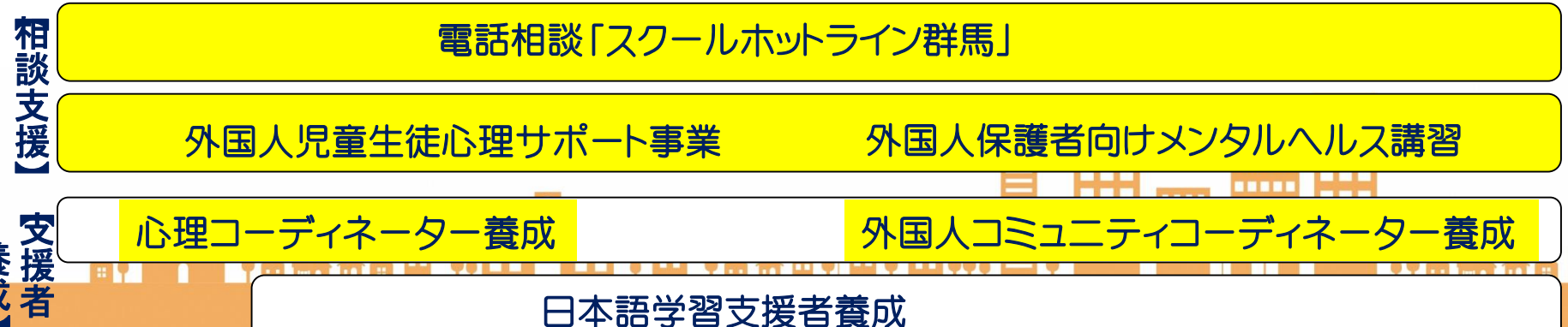
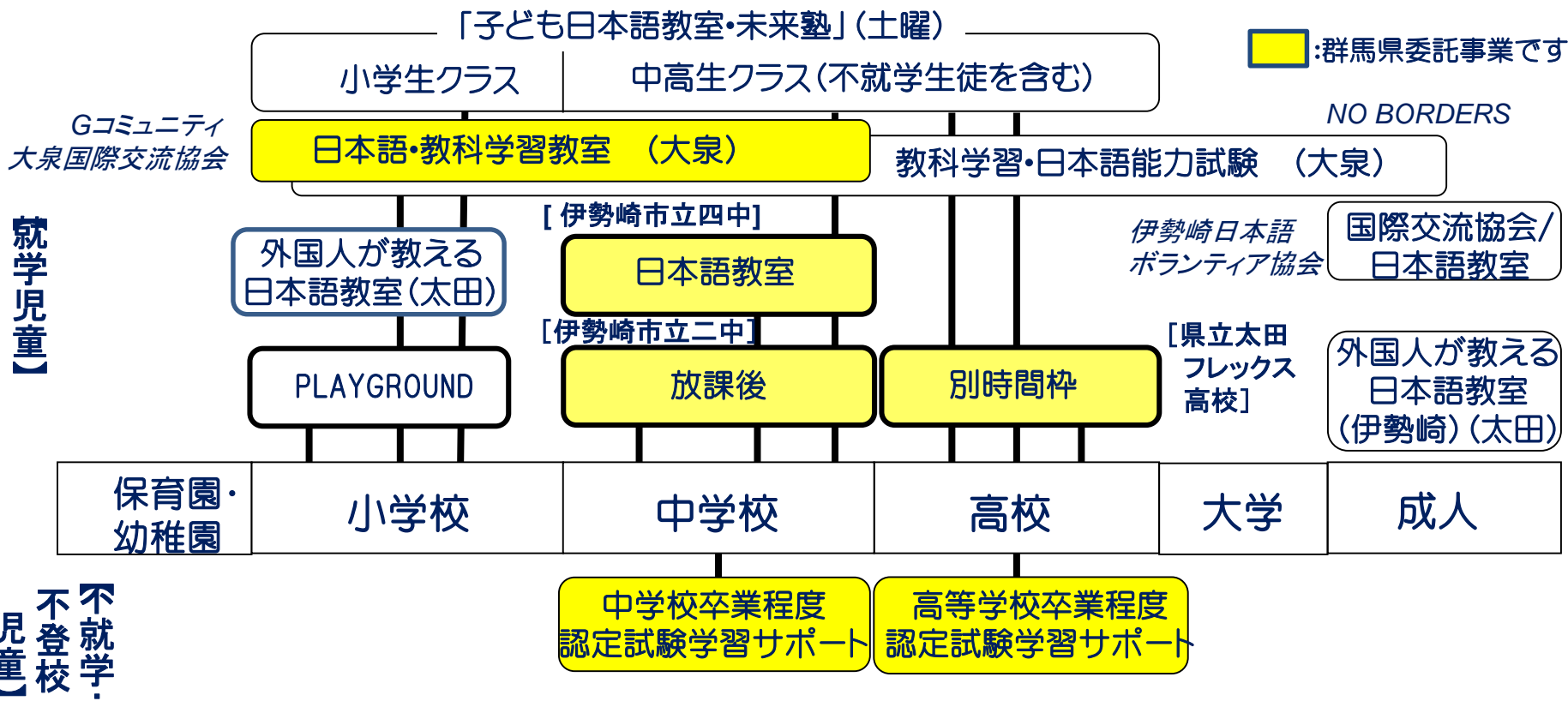
心理コーディネーター
養成

外国人が教える
日本語教室
(兼交流センター)

2. 実施活動の事例



2-1 NPOなどによる教育支援の主な取り組み



2-2 学校内での学習支援(2012年度～現在7年目)

- … 外国人生徒が特に多く在籍する学校での支援
- … 教育委員会(県、市)と校長先生のご理解、ご協力を得て実施

伊勢崎市立第二中学校 放課後	週2～3回 各回1時間半	登録生徒数 延べ44名
伊勢崎市立第四中学校 日本語教室	週2～3回 各回1校時	登録生徒数 延べ59名
群馬県立太田フレックス高校 別時間枠	週1回 各回3時間枠	登録生徒数 延べ60名

【課題】 支援者の確保(平日のため難しさあり)

【成果】 高校進学、資格取得(日本語能力試験、英検)に寄与



2-3 母国語による教育相談、心理カウンセリング

(2015年度～現在4年目)

- … 母国語(ポルトガル語、スペイン語、英語)対応による支援
- … 教育委員会、学校、発達支援センターとの連携
- … 母国語対応できるコーディネーターによる円滑な支援

母国語による教育相談 延べ175名
(スクールホットライン群馬)

- 電話相談
(月)～(土)夜9時まで可能
- 面談 • 訪問同行 • メール

主な相談内容

- 日本語・教科学習
- 進学・受験 • 教育資金
- 入学・編入 • 不就学・不登校

延べ93名

母国語による心理カウンセリング

- 毎月各1回
 - ① スペイン語、英語、日本語
 - ② ポルトガル語
- 1回で終わることはなく、中長期にわたる

主な相談内容

- 不登校 • 学校・家庭内で暴力・不適応
- 自閉症 • 発達障害 • 離婚が児童へ影響
- 親子コミュニケーション



2-4 地域のコーディネーター養成

(2015年度～現在4年目)

- … 近くで最初に相談できる
どこに相談したらよいかわからず深刻化するのを防ぐ
- … 受講者の中から地域のキーパーソンを見出す

延べ79名

外国人コミュニティコーディネーター

- 養成講座
8回講義のシリーズを毎年1回
- 質疑応答を重視
- 有志が「外国人が教える日本語教室」

- 今までの主な講義テーマ
- 社会制度(学校、税金、健保、年金)
 - 病院 •住居 •日本語指導法 •介護
 - 民生委員 •少年院 •児童相談所

延べ127名

心理コーディネーター

- 養成講座
5回～7回講義のシリーズを年1回
- 講師: 大学の専門家
- 受講者は外国人及び日本人

- 今までの主な講義テーマ
- 発達障害 •病の見分け方と支援
 - 家族の心理支援 •ケーススタディ
 - 支援者のメンタルヘルス



3. 実施上の課題



3-1 実施上の課題

(1) 支援者の確保

… 支援活動が平日であることが多いため確保に困難

(2) 地域の日本語学習・教科学習拠点の不足

(3) 制度のはざまですで起きる問題の対処

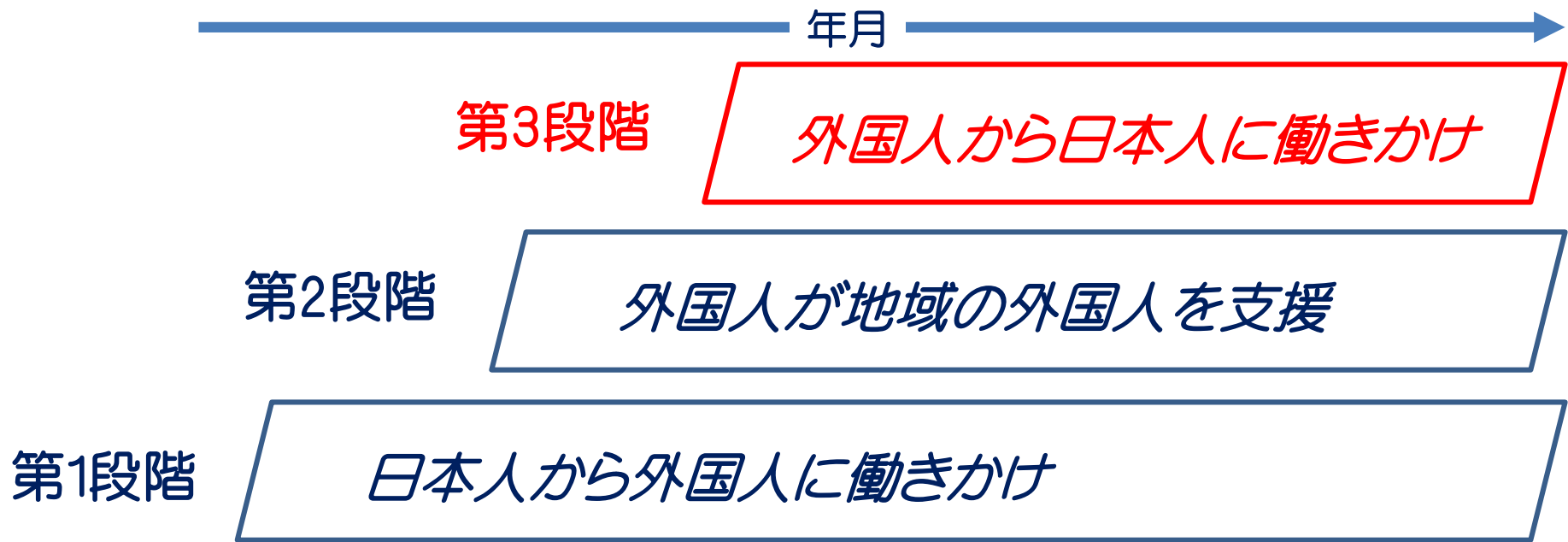
例: 義務教育の学齢主義⇒ 下学年編入、学齢超過入学



4. 次の段階の活動(模索)



4-1 多文化共生により日本人と外国人の関係が多様に発展



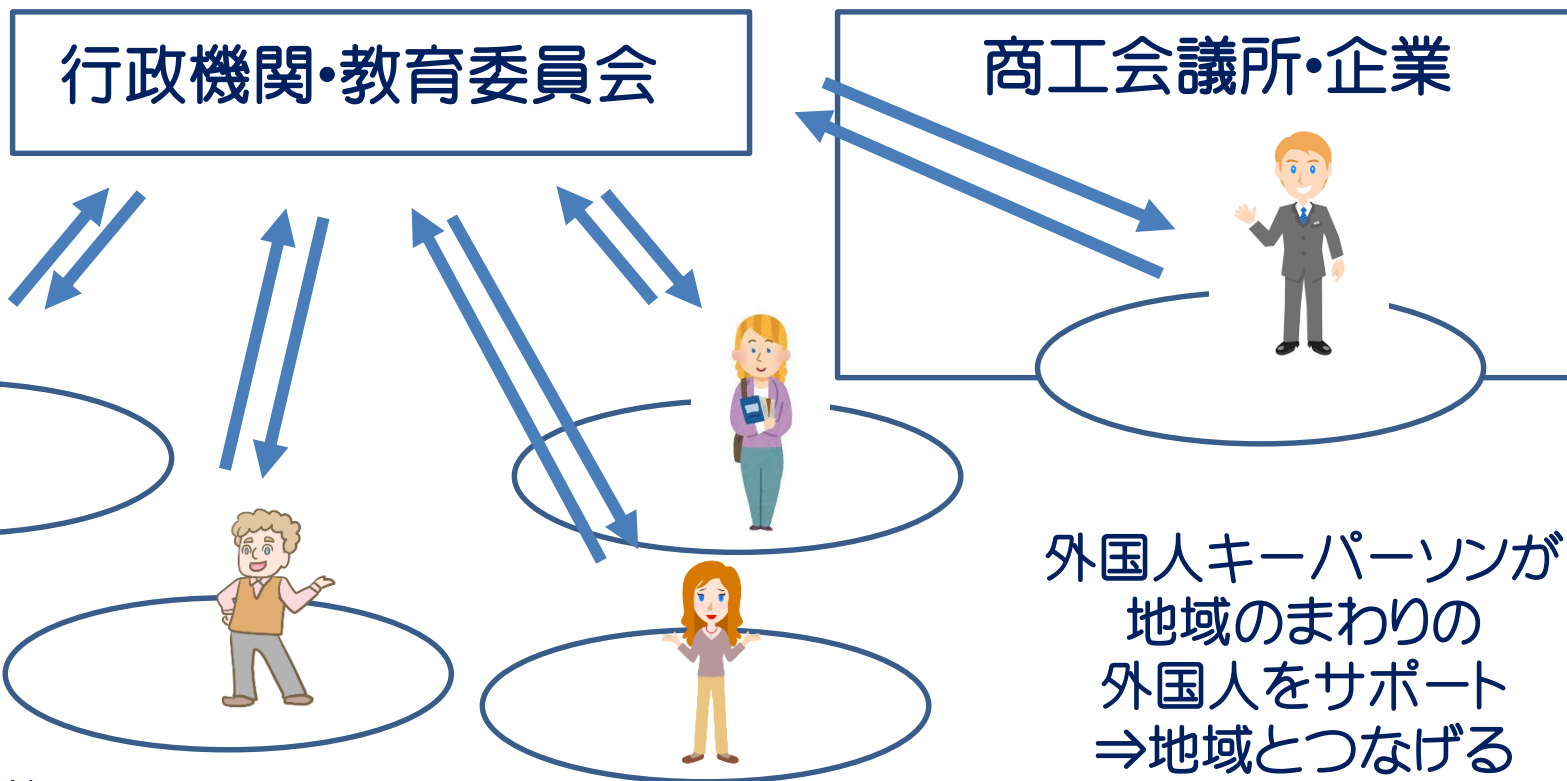
日本社会で従来受け身になりがちであった在住外国人が、積極的に自ら日本人に働きかけることができることで、より対等な関係が構築され、外国人の持つ多様性が共生を通して日本社会や地域社会の新たな活力源になるのではないのでしょうか。

私たちは、第1、第2段階に加え、このような多文化共生作りを目指します。



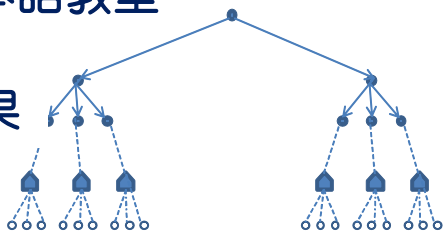
4-2 外国人キーパーソン*育成による自発的ネットワーク

* 日本語能力が高く、日本の社会制度の基礎知識を持つ。日本語指導力もある。



外国人が教える
日本語教室

波及効果



外国人の大人が日本社会との関わりに
自信を持つことが、子どもに良い影響を与える

